

がんばるバイクショップの

情報マガジン

ヤマハニュース

Yamaha News

特集●お客さまへのメカニカルサポート

“週末はメカニック”

ハローナイスショップ●YOU SHOP キャブレター

オリジナルイメージの創造

YAMAHA NEWSインタビュー⑱●桜新町商店街振興組合

お客さまとのリアルタイム・コミュニケーション

1996 No.397

9
SEP.

「しょうがないわね!」っていいながら、いつも笑顔で見送ってくれるキミたちに感謝してます。父さんだって、ホントはずっとキミたちの顔を見ていたいんだ。だから我が子よ、早く大きくなれ。バイクで一緒に旅をしよう。わがままな父より。

拝見！となりのお店

HELLO NICE SHOP

ハローナイスショップ



展示車の横に置かれた椰子の木がお店のイメージの演出に大きな役割を果たしている。「展示車の配置は頻繁に変えていって、常連客のみなさんにも常に新鮮な印象を与えていきたい」と松井社長

YOU SHOPキャブレター
奈良県大和高田市（松井幸三社長）

店舗リニューアルでさらに進んだ オリジナルイメージの創造

〈店舗演出と普及活動の一体化でお客さまに親しまれる店づくり〉

新しい店舗を作る際、気をつける点は？

清潔感、展示車両の見やすさ、

サービス設備の充実…。

もちろんどれも大切なことですが

今回紹介するYOU SHOPキャブレターさんが

力を入れたのが、

お店のイメージづくり。

それは店舗という“容れ物”だけでなく、

さまざまな活動を通して作りあげていくものなのです。

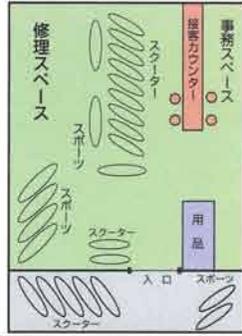
今年の7月27日に現在の新築した店舗に移転したばかりのYOU SHOPキャブレターさん。それまで12年間営業していた店舗からは約500メートルしか離れていないのだが、「こんな店があったのか」といって、新しく来るお客さんにもいますよ。すぐ近くで10年以上上商売してきたのに、やっぱり知らない人もいますね。でも、今度の店は目立つから覚えやすいと評判ですよ。店内も明るい雰囲気が出ているしね」と、さっそく移転の効果が表れていることに満足そうな松井幸三社長。

新店舗は大通りから少しだけ小道に入ったところにあるため、人目につきやすく、訪れたお客さまが駐車するにも都合がいいという。オープンスペースにもたくさん展示車が置けるようになった。

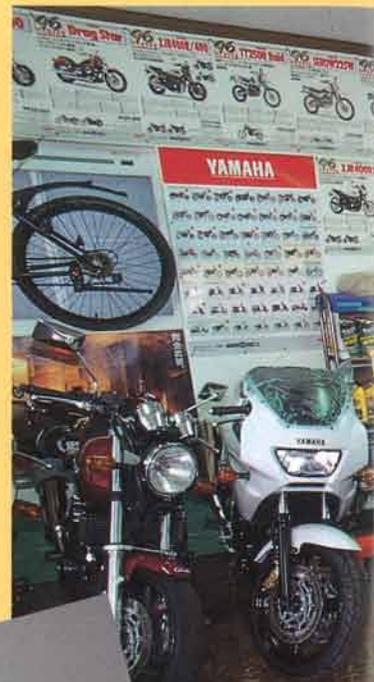


YOU SHOP キャブレター 奈良県大和高田市

大和高田市は大阪のベッドタウンとして発展中の都市。2輪車の普及率は2世帯に1台とかなり高い。12年前、市内にオープンした旧店舗はスペースに限りがあり、商談している横でバイクを修理するなど、不便な思いをしていたという。ちなみに、お店には常連の若いお客さまがいつも集まってきて、閉店後は即席バーになることもしばしばとか。



店内のあちこちに、お店が企画したイベントの写真が飾られている。「自分の写った写真を見せるために、お客さんが新しい人を連れてくることもあるんですよ」



「松井社長(中央)はハングリー精神にあふれる人」と評するのは担当の柘セールス。3級整備士の資格を持つ真理夫人が女性客の接客にあたる



しかし、それだけではない。「ガソリンと空気を混ぜるキャブレターのように、バイクと遊びを混ぜ合わせていきたい」というのが松井社長のポリシー。そのために、従来にはないバイクショップのイメージを築きあげようと、日ごろからつねに取り組んできた。

その一つが、松井社長の大好きな海のイメージを取り入れることである。まず、店内にサーフボードや麦わら帽子を置くといった演出を凝らした。さらに、松井社長自ら海をモチーフにした「キャブレター」のロゴをデザインし、ロゴ入りのステッカーやTシャツ、ジャンパー、キャップ、キーホルダーなどのオリジナル商品を製作。ステッカーを愛車に貼る、おそろいのTシャツを着るといったことが、お客さまとお店との連帯感を育てることに貢献しているのだ。新店舗に移る際も、椰子の木やロゴをあしらったタペストリーを飾ったり、オリジナルのグッズを数多く展示することで、従来からのイメージをより色濃く反映するようにした。

そして、もう一つの要素である「遊び」の部分もさらに活発化しようと意気盛んだ。なかでも有名なのが、エンデュロへの参加である。「CRキャブ」というチームを昨年結成し、すでに多くのレースで好成績を収めるまで実力をつけてきた。その他、店が主催するサーフィンやスキーなどのイベントにも毎回20〜30人もの参加者が集まる。イベントの性格上、バイクを利用できないこともあるが、バイクにこだわらない遊びもどんどんやっていきたいという松井社長の考えの表れでもある。

「遊びにしろレース活動にしろ、最初に私が若い人たちにやり方を教えてあげれば、あとは自分たちでなんでもできるようになってくる。私はきっかけを与えてあげればいいと思っていますんです。私自身商売というよりも、自分の楽しみでやってるんですけどね」

お店のイメージにあった店舗の演出と、そのイメージに沿った活動を展開する。そうしたハードとソフトの調和によって、本当にお客さまに親しまれるお店に近づいていくのだろう。「どんな形であれ、一度店を訪れたお客さまとはずっとお付き合いが続いていきますよ」という松井社長の言葉からも、お客さまとお店とのアットホームな雰囲気を感じられるようだ。

特集：お客さまへのメカニカルサポート

“週末はメカニック”



井上店長（左）をはじめスタッフ全員が整備士資格を持ったプロばかり「自分で作業している、困ったことがあっても安心、すくなく助かっています」と、お客さまの信頼も厚い。



“週末はバイク人”キャンペーンで「バイクと過ごす素敵な週末」をアピールしているヤマハですが、バイクの魅力は乗ること・走ることに限りません。自分で愛車を洗車したり、オイル交換することからはじまる“メカニカルな楽しみ”もそのひとつ。そこで今回は、お客さまのメカニカルな興味を育て、サポートすることで、いっそうのコミュニケーションの深化と満足度向上をはかっている3店にお伺いしました。アフターサービスの充実化にお役立てください。



井上店長は、地元バイク情報誌に頼まれてメカニカル講座を執筆していた。「ライダーの役に立てれば」と創刊当時から連載をはじめ、約5年間継続。読者から電話や手紙での問合せも多かった

気負わず無理せず 顧客ニーズに対応

YSP友泉

井上修店長／福岡市城南区

お客さまの希望に応じて
作業スペースと工具を提供

「お客さんが望むことは、可能な限り応えてあげたい。それがウチのモットーなんです。だから、商品の品揃えもできるだけ豊富にしたいし、定休日も設けていないんです」と話すのは、YSP友泉さんの井上修店長。

そのため、自分のバイクを自分でメンテナンスしたいと希望するお客さまがいれば、店で用意した専用の工具を貸し出し、駐車場の横などを作業スペースに提供する。アドバイスを求められれば相談に乗り、必要に応じて手を貸してあげることもある。「こういふのって、すくなくありがたいですよ」と話すのは、オーバー750に乗るお客さまの木元啓（26歳）さん。「自分で整備するのはけっこう好きなんですけど、家でやるとわからないことがあったり工具が足りなかったりして困ることがあるでしょ。でも、ここならそんな心配はまったくないからね」。ただし、お店にとっては必ずしもいいことばかりではない。

「ウチがこういうサービスを始めたのは2、3年前。当時エンデューロがブームで、参



YTSスリースター、認証工場の資格を持つYSP友泉さん。その技術力の高さが売り物のひとつだけに、工場へはスタッフが以外立入できない。お客さまが作業できる場所は、駐車場など空いたスペースに限られる

加台数も多かったから、レースの前日なんぞ保安部品外したりタイヤやチェーンを交換したりするだけで、ほかの修理やなんか全然やれなかったんですよ。それで、自分のバイクを自分でやるなら、工具と店の空いている場所を貸すぞっていったのがきつかけなんです。お客さんにとってはよけいなお金がかからないし、我々も助かるしね。でも、いつのまにかそれが町乗り用のバイクまで広がって、誰も彼もがみんなやりたがる。そうなると商売の邪魔になるし、はじめがつかないので、一時期止めてしまったんです。もう貸さないよ。

ところが、間もなくすると今までよく顔を出していたお客さんたちがいきなり来な

くなつてしまつたんです。それで、また規制緩和したんですけどね」

場所や工具は従来どおり無料で提供するが、いつでも誰でも自由に使えるわけではなく、店長の判断で許可を出すようになったのだ。

お店の営業に支障が出ては困るが、お客さまの希望にもできるだけ添ってあげたい。すると、いつ、どんなお客さんならいいのか。その基準を明示するのは、一見簡単そうだがすごく難しい作業だ。

「いがかげんな基準だと例外が多過ぎてはじめがなくなるし、細か過ぎて混乱することになったんです。基本的にはウチでバイクを買ったお客さんで、交換や修理の部品を持ち込んでダメ。そのほか、キャリアや整備内容なども判断材料のひとつです」と井上店長。

当然お断りする場面もあるが、それはきちんと理由を説明し、納得してもらう。あくまで主導権は店が握っているのだ。お金を取ったりクラブ特典のような形にしないのは、それをわかってもらうためでもある。

工賃の損得より お客さまの満足

店長に作業場所や工具を貸してほしいといつてくるお客さまは、今のところ週に2〜3人程度。

「一種の特別待遇だから、宣伝しているわけではない。それに、最近はいわゆる“ファッションバイカー”が増えて、自分の手を汚

すことを嫌うし、それほどバイクに情熱を持たないお客さんが多いんですよ。以前、メカニカルスクールも企画したんですが、参加希望者が少な過ぎて流れちゃった。

だから、店の工賃売上げにはほとんど影響ないですよ。パーツ代とか別のところで十分埋まってると思う。それより、単純にお客さんが喜んでくれることの方が大切。店とのつながりが深くなれば、紹介のお客さんも増えるしね」

お客さまのニーズを最優先しながら、商売とのバランスを考え、無理のない範囲で両立をはかるYSP友泉さん。メカニカルサポートの方法についても、けっして特別なことをしているわけではないが、試行錯誤しながらたどり着いたシンプルかつ効率的なシステムなのだ。

「今の形がベストだとは思いませんが、今まで同様こうと決めつけなくて、お客さんにも店にもより良い方向で変わっていければいいなと思っています」



YSP友泉

YSP大澤さんの姉妹店として、平成5年にオープン。福岡市の市街地へクルマで30分たらずという場所柄。近年急激に宅地化が進み、福岡大学などの学生アパートも多い。しかし、山がちな地形に加え、公共交通機関はバスしかないため、バイクは欠かせない交通手段のひとつとなっている。



YTSベシック用のテキストをベースに、独自のカリキュラムに基づいたテクニカルスクールを開催。自作のエンジンカットモデルを前にして、熱のこもった講義だ。雰囲気はとても和やかで、夕飯をつつき、雑談でもするような雰囲気が進められる

類は友を呼ぶ “メカ職人”の店

YSP伊那

竹村利彦社長／長野県伊那市

○×式の学科テストで メカニズムのアドバイス

緑あふれる伊那谷の眺望を背景に、YSP伊那さんの店舗はある。段差のある土地を利用し、1階部分に売場スペース、その直下に120㎡の広々としたスペースが設けられているのだ。

この工場の主は、YTSドクターであり2級整備士でもある竹村利彦社長。しかし利用するのは社長に限られない。常連のお客さまたちが気軽に立ち寄って、自分のマシンのメンテナンスをしている。分からない所や特殊工具の必要な個所では竹村社長にお呼びの聲がかかるが、そうでなければお客さまは好きなようにスペースや工具を使い、せつせとメンテナンスに励む。竹村社

長はその様子を眺め、時折声をかけながら、満足げに目を細める。

実はこのお客さまたちは、すでに竹村社長にみっちりメカニックのコーチを受けた「生徒」なのだ。

「メカ好きの、いわゆるサンデーメカニックのお客さまを対象に、毎年冬になるとメカニカルスクールを開いているんです。バイクは乗るものだけど、楽しみ方はそれだけじゃない。メカいじりの楽しさもあることを知ってもらいたかったのがスクールを始めたきっかけです。伊那では冬場はバイクのオフシーズンだから、たっぷり時間がとれるのも幸運でしたな。」

内容は、エンジンはなぜ動くかというようにごく基本的なところから始めて、実際に各部の調整ができるまで。毎年5〜6人集めて、のべ4回で「修了」します。最終日には20〜30問の○×式学科テストをして、答え合わせをしながら個々のお客さまにアドバイスするんです」

スクールは、竹村社長の奥さま、典子さん手作り夕食付きで、1回1000円。スクールとは言っても堅苦しいものではなく、雑談会のようなとてもなごやかな雰囲気だ。

「参加者は、店内の掲示板に張り紙をしたり、DMや年賀状に追伸としてスクール開催を書き添えて募ります。また、お客さまと話をする中で『この人にはちよつとメカニズムについて教えてあげたいな』というような方には直接電話を入れて誘うこともあるんですよ」

もともと自動車販売会社で整備をしてい



特集：お客さまへのメカニカルサポート “週末はメカニック”



工場は常連のお客さまが無料で使える。納車整備などで忙しければ時間的な制約もほとんどなく、休日や閉店後にもお店のスタッフに一声かければ使用可能。工具も貸し出している

たこともあり、竹村社長のメカへの造詣は非常に深い。スリースター店、認証工場、2級整備士、YTSドクター資格など、肩書きを数え上げればキリがない。

「ステイタスシンボルのようなものですよ」と竹村社長は言う。

メカニカルスクールの際には自分で作ったTZR50のエンジンカットモデルを使う。奥さまの典子さんもそのカットモデルで勉強し、3級整備士を取得した……。

それほどの知識と腕前を持っていれば、サービス部門の売上げが大きなウエートを占めるはず。そこに影響は出ないのだろうか？

「本当は全部私がやって工賃をもらった方がいいんだと思うけど、自分がバイク好きのユーザーだから、お客さまの気持ちが良い分かつちゃう。例えば調子の悪いバイクを持ってきて「なるべく安く直してほしい」と

頼まれたら、「教えてあげるから自分でやってみる？」と言いたくなる。それに、工賃は減ったとしても、他のショップさんと比べると、かなりの数の部品が出ますからね」

上質なお客さまを得意分野でつかむ

しかし、スクールを開催することで一時的な動員は図れても、お客さまが自分でメンテナンスをするようになれば、それだけ足を運ぶ機会自体が減ってしまうということにはならないのだろうか？

「それはむしろ逆。メカに興味のあるお客さまは、必ずウチにまた質問しに来る。田舎ではとにかく来店してもらおうのが第一なんです。さらにそういったお客さまは本当にバイク好きの方がほとんどなので、「こないだいい店があるんだよ」と友達を連れてきてくれるんですよ。その口コミの威力にはすごいものがあります」

竹村社長は、直接バイクを売るよりも、「メカ」を通して得られるお客さまとのコミュニケーションや口コミ客の方を大切にしているのだ。

「バイクの代替えは時期が来なけりゃ無理強いできるものではないでしょ？ だから代替え狙いという直接的な方法よりも、それまでいかに顔をつないでおくか、という間接的な方法に私の得意分野「メカ」を使っているんですよ」

「という、すべてのお客さまにヤミクモに「メカじりの楽しさ」を押しつけるわけではない。」



修理車などの収納庫も兼ねる工場は120㎡と十分な広さ。お客さまがメンテナンスなどで一隅を使用しても、竹村社長の作業の邪魔になることはない

「ふたつの顔を持つようにしています。初めてのお客さまに接するときは、自分でメンテナンスをするのが好きな方かそうでないかを話の端々から見抜いて、好きでなければ決して無理強いはしません。ただ、傾向としてそういうお客さんは例えばバイクを買ってくださったとしても、そう長続きしないケースが多い。バイクは趣味性の高い乗り物ですから、好きであればあるほど「上質なお客さま」ということが言えると思います」

オンロードだけでなくオフも、走るだけではなくメカニカルな興味も、と楽しみ方の幅が広がれば、バイクをもっと好きになってもらえる。それが固定客作りのコツなのだ。

「オールマイティに商売するのは、私には無理なんです。言うなれば「専門バカ」なんです。私はメカには自信があるけれど、正

直言して他のことには自信がないんです。それでも、そういう「狭き門」をくぐってウチの常連客になってくれた方を中心に、口コミで周りの人がどんどんと集まってくる。しかも、みんな上質な「専門バカ」も結果的にはうまい具合に機能していると思います」

社長がイメージする通りのお客さまが集まる店になってきたYSP伊那さん。メカニック職人・竹村社長の夢は、今大きくふくらんでいる。

「今は無料で工場の一隅を貸していますが、若い人たちからするとタダだとかえって借りにくい面もあるようです。ですから、まだ夢の段階ですが、工場とは別棟の時間貸しガレージを作りたいと思っています。そこには工具を置いて、自由に使えるようにする。」

ツーリング好きな人にツーリングクラブという場があるように、メカ好きの人や興味のある人にも場を提供したいんですよ」



YSP伊那

中央高速伊那インターから1.5キロ、市内へ抜ける道沿いに立地。口コミ客が多いため、50キロ以上離れた飯田市にもお客さまが。主婦でも軽自動車が必要という土地柄、スクーターとスポーツの販売比は2対8。オフロードのライディングスクール、キャンプ、YRS活動など遊びの提供にも力を入れている。



3つの工具箱が、お客さまとフルタさんの絆の深さを象徴している。古田店長の専用工具箱には、10点以上の自作工具が、「必要に迫られるたびにどんどん作っちゃう」と古田店長。オフロード車が扱いのメインとは思えないほどの輝き。「何よりも大事な商売道具ですから、使ったらすぐに手入れをしています」一方、信州大学の学生用にキープされている工具箱は使っぱなし。古田店長は「もっときれいに使えないものかな」と苦笑いする。かつては古田店長の工具を使わせていたこともあったが、扱いが荒く、紛失なども相次いで「工具キープ」と相成った。そして誕生日にプレゼントされた工具箱。マジックで書き込まれた信大生の名前が温かい

お店とお客さまをつなぐ “工具箱” コミュニケーション

ヤマハオートショップ・フルタ

古田俊二店長／長野県松本市

オフシーズンに開催される メカニック教室が大盛況

「兄さん、ここはどうしたらいいの？」

愛車のメンテナンスに余念がないお客さまから声がかかる。

ヤマハオートショップ・フルタさんの古田俊二店長は、お客さまから「兄さん」というニックネームで呼ばれている。その呼称からも、お客さまと古田店長の間には流れるコミュニケーションの深さがうかがえよう。

古田店長と話していた稲村延克さん（28歳）は、フルタさんのお客さま。この日も自分のバイクをリフトの上に載せ、持ち

込んだ工具でメンテナンスを始めた。

「8年前に免許を取ったときには、バイクのバの字も知らなかったんですよ。それが今では、たいいのメンテナンスを自分でできるようになりました。もともとメカが好きだったこともあるんですが、何よりも兄さんに色々教えてもらったおかげですね」と稲村さん。

古田店長は、30年以上前からモトクロス活動をしており、現在でもレース主催者ヤマハ・オフロードライディングスクールのインストラクターを務める。また、自分でもTT250を駆り山へ分け入る現役のオフローダーなのだ。

「オフロードランは自然相手だから、何が起るかわからない。だから、バイクのメンテナンスも自分である程度のことできて当然のほうなんです」と手厳しい古田店長だが、「自身も最初からメカ好きだったわけではない。

「もともと私はメカニズムにはそんなに興味 wasn't. まだ私の父の代の頃ですが、次の日曜がモトクロスのレースだとすると、みんなでお店に集まって整備をしている。そんな所からメカに興味を持ち出しました」

そうなるに興味と知識欲は留まるどころを知らず、モトクロッサーのエンジンチューナーとして名をなし、古田店長の工具箱には自作した工具の数々がしまわれているといった具合だ。

そして10年ほど前から始めたのが、メカニック教室。
「女性のお客さまからの要望があつてね。最



“週末はメカニック”

初は女性だけでなく、タイヤ交換やオイル交換のような簡単なメンテナンスについて教えていた。それがやがて広がっていきまして……。

私には、メカニックに非常に詳しい兄(古田 昭一氏/YS P松本社長)がいますが、何も教えてもらえなかった。全部自分で見て覚えたいものです。

でも私は、メカが好きなお客さまがいて、自分に教えられることがあれば、お教えするのがバイクシヨップとしての務めだと思っ

「でも、その盛況ぶりがアタととなって現在は休止中なんです。なぜって、教室はバイクがオフシーズンになる冬場にやっていたんですが、雪が降るのでみなさんクルマで来る。その数が多すぎて、駐車場が確保できなくなってしまったんですよ」と古田社長は苦笑い。

友達数十人を紹介して 工賃以上の恩返し?

こうしてバイクのメカニズムについて学んだお客さまたちは、フルタさんにとってどういう存在なのだろうか?

「うーん、自分たちで何でもやっちゃうから、工賃は取れないんだよね」と頭を掻きながら古田店長。が、その言葉には稲村さ

エンジンをばらしての調整などの重労働は、古田店長(右)の出番。熱心なそきこむのは常連客のオビニオンリーダ、稲村延克さん



決して広いスペースではないが、空いていけば常連客が自由に使える。基本的には古田店長の工具は使わず、自分の工具を持ち込む。「当然のマナーですよ」と稲村さんは言う

んも黙っていない。

「僕ら常連客、しかも兄さんにメカについて教わった人たちは、友達に『信頼できるいいお店があるよ』ってフルタさんを紹介するんです。僕はもう数十人の友達を紹介してまして、今でもみんなフルタさんと付き合

紹介の動機ですか? 兄さんが実際に信頼できる人柄であることももちろんですが、私なりにすごく恩を感じているからなんです。メカについて教わるだけでなく、商売のスペースまでも使わせてもらってるわけですから。

バイク仲間って、いつでも『いいバイクシヨップはないか?』って情報交換してるんですが、僕は友達にそう聞かれたら、迷わ



ずフルタさんの名を挙げますね」

こうして「いいシヨップ」という情報 がライダーのネットワークに乗れば、アツと言う間に広い範囲に伝達していくのだ。

「実際こういう紹介客は、バイク販売にも結びつきやすいですね。友達に紹介されて、ある程度こちらを信用してきてくださってるわけですから。

しかも、ある意味では私に鍛えられた常連客が連れてくるお客さまですから、バイク乗りとしてのマナーやルールをしっかりと守れる方が多い。だからお店としても大歓迎なんです」と古田店長。

稲村さんも、「兄さんはマナーやルールという点では非常に怖いですが、僕もここに出入りしてはいますが、兄さんの工具は使わないようにしている。商売道具ですからね」

こういう常連客をオビニオンリーダとしてフルタさんのお客さまは、ライダーとしても非常に質が高い。

月に1度行なわれるオフロードツーリングでも、決して一般の交通に迷惑をかけることのないよう気を配り、30人を超える大規模なツーリングの時は、まとめて30人が走ることはなく、少人数に班分けして整然と走る。

単にメカニック技術の向上にとどまらず、

工具箱を媒介にして心がつながっているのである。

そういうエピソードはまだある。工場の片隅に置かれた、青い工具箱。信州大学の学生用の工具だ。その隣には、「Birthday Present for Syunji Furuta」の文字が書かれた工具箱も並んでいる。信大生からのプレゼントだ。

「信大生とは、かれこれ30年の付き合いになりますね。ここに来ては、バイクをメンテナンスしていくので、ボトルキープならぬ工具キープですよ。工具を使えばなしの人は叱り飛ばしたりするんですが(笑)。しょっちゅう顔を出すのも多いし、何よりも嬉しいのは卒業して県外に出ていったOBが、わざわざウチまでバイクを買いに来てくれるんですよ」

そうやって顔をほころばせる古田店長。このふたつの工具箱が、フルタさんとお客さまとのコミュニケーションの深さを象徴していた。



ヤマハオートショップ・フルタ

松本市内の中心街の一角に店を構える。64年前、現店長の父親の代に同地で創業。信州大学の学生客が多い。オフロードツーリングクラブの「夢風」、オン&オフの「ラフオートーク」などのクラブ活動も盛ん。スクーターとスポーツの販売費は5対5。スポーツのうち2/3はオフロード車。

東京・世田谷／桜新町商店街



TALK

菅沼 元春さん

[桜新町商店街振興組理事 飲食部部長
インターネット担当 とんかつ味の丸新店主]

桜新町商店街ホームページ

'96年4月に商店街としては日本で初めてインターネットにホームページをオープン。桜新町商店街の紹介、マル得情報、わが町の有名人など地域密着型の情報を発信しており、約200店舗のうち100店舗以上が参加している。オープンしてから2カ月間のアクセス数はなんと11万件を越えているという。HPアドレスは、<http://www.sphere.ad.jp/mytown/sakura>

オンラインショッピング、バーチャル都市……、インターネットに関する報道が毎日のように巷を賑わしている。しかし、多くの人々はまだ実態の見えない「遠い話」として捉えているのもまた事実ではないだろうか。そんななか、この4月には日本で初めて商店街のホームページが登場。小規模店活性化の新たな試みとして注目されている。ハイパー商店街のさきがけ、桜新町商店街理事の菅沼氏に、インターネットの可能性についてお話を伺った。

リアルタイムで お客様さまと コミュニケーション

何かと話題のインターネットですが、商店街のホームページをたち上げようというお話はいつごろからあったのですか？

実は今年の1月です。みんな「インターネット！」と言ってますが、実際にパソコンに触ってインターネットを経験している人はまだ少ない。そこで「インターネットとは何か」という講習会からスタートしました。3月初旬に参加していただくお店を募集して、4月にオープン。本当に駆け足でしたが、幸いにも「日本初」ということで、

話題で終わらない
力が大切





様々なメディアに取りあげられ「桜新町商店街」を知っていただくよききっかけになりました。

「知る」ための手段ならば、既存のメディアのほうが強いと思われるが……

インターネットには「知ってもらいたい」情報に幅を持たせることができます。それが、新たな広告としての可能性ですね。「世界に発信」というスケールもありますが、同時にリアルタイムで情報を流せたり、相互コミュニケーションがとれるといった特性も持っています。これらを活かして地域に密着した情報を発信することができます。

例えば、折り込みチラシなら制作に1週間はかかります。その間に野菜の価格が値上がりしてしまうことだってある。インターネットだったら、「今日はこの品物が安いよ」とすぐにネット上に流すことができるから、お店にとってもリスクが減りますね。

一過性の 中身と魅力

ただし、リアルタイムで情報を流すといっても「桜新町の最新情報がインターネットでわかる」ことをまず地域に浸透させなければ何なりません。そのために、インターネットの画面と同じものを冊子にまとめて配布するなど、既存のメディアとの組み合わせも必要です。確かにオープン前のミーティングでも、まだ早すぎるのではないかとこの声もありました。パソコンの普及率という点から見れば、「即効性のある広告」に成長するまでには、もう少し時間がかかるでしょう。ただ、先行しているということは、普及した時にはすでにノウハウが蓄積されているというメリットもあります。

お客さまとのコミュニケーションという点ではいかがでしょうか？ 「人と人との触れあい」が商店街の特徴だと思えますが、コンピュータを介することによって、人の温もりが感じられない無機質なコミュニケーションになってしまう危

惧はないですか？

先日、お客さまから「インターネットで見たので、桜新町に来たときにとんかつを食べました。大変おいしかったですけれど、ご飯がちよっと柔らかかったです」と電子メールをいただきましたね。我々にとっては、苦情のほうが勉強になるんです。でも、お客さまは面と向かつては文句つけにくい。顔をあわせない電子メールだったら、気安く書けるのではないのでしょうか。

しかも、ご意見をくださったお客さまに読んだその場で返事を出せますから、たいした手間もかからない。私もすぐに「お客さまには、炊きあがったばかりで蒸らす時間が少なかったものをお出ししてしまつたようです。今後はこのようなことが無いように気を付けますので、またお越しく下さい」とお返事を送りました。それに、コミュニケーションの全てがインターネットに取って代わられてしまうわけではありません。お客さま側にも店側にももうひとつ「選択肢」が増えたという認識ですね。

ホームページによって「商店街のあり方」も変わりそうですよね。

遠方の人にも「桜新町商店街に行ってみよう」と思わせ、さらに実際に足を運んでいただけるような魅力がなければ一過性のものになってしまいます。たくさんの人に見てもらえるページを維持することが、ひいては商店街の活性化につながっていくでしょう。そのためにはまず、個々の「店」が魅力的でない……最終的にたどり着くのは、そこなんです。

いよいよ全国で地区大会スタート！ 日ごろ培った技術力を磨き合う '96ヤマハ整備士コンテスト

正確で迅速なサービス技術、質の良い接客態度はお店の信頼感を高め、お客さまの固定化や紹介客獲得にもつながります。日ごろから、お店のスタッフひとりひとりが十分気を配っておきたいものです。

しかし、自分の店に在るだけでは改善すべき点がないのか、どうすればより良いサービスができるのか、なかなかわかりにくいことも事実。

そこでヤマハは、年に一度、サービスマン同士が一堂に会し、日ごろ培った知識と技術を試し磨き合う場を設けました。それが「ヤマハ整備士コンテスト」です。

すでに8月22日・旭川会場を皮切りに、全国各地大会が始まっています。ここで勝ち上がると、次は11月7日、静岡県・つ

ま惑での全国大会が舞台です。サービスマン日本一をめざし、奮ってご参加ください！

ヤマハ二輪車整備講習会

ブロック	9月
北海道	B
東北	B(平日) M 3-5
東京	
中部	
関西	B(平日)
中国	B(米子)
四国	
九州	

※B/ベイスック M/マスター D/ドクター ※都合により開催変更および中止となる場合があります。また、日程のないものなど、詳しくはヤマハの各担当営業所へお問合せください。

『自動車点検整備推進運動』スタート 「自分のバイクは自分で管理」を お客さまに意識づけください



元F1ドライバー・中嶋信三さんをキャラクターにした告知ポスター

て点検・整備に関する法律も緩和されたわけですが、喜んでばかりもいられません。規制がゆるやかなったぶん、お客さまがこまめに日常点検をやっておかないと、リスクを背負うのはお客さま自信なのです。そこで、施行から1年が経過した今、もう一度ユーザーの意識を喚起しようと、政府や業界が一体となって「'96自動車点検整備推進運動」を展開します。

特に9月から10月は重点実施期間。「マイカーセルフチェック宣言」を合言葉に、告知ポスターやパンフレットで呼びかけていきますので、ぜひ店頭でもお客さまの日常点検徹底に協力ください。

21年ぶりの二輪免許制度改正 いよいよ9月1日施行

大型二輪の免許区分、取得方法変更などで早くから業界を賑わせた二輪免許制度改正が、いよいよ今年9月1日から施行となります。お客さまの関心も高いことから、お店のスタッフ全員が正しくアドバイスできるよう、しっかりと把握しておきましょう。

主なポイントには別表のとおり。ただし、注目の大型免許は「限定解除」の審査は継続ですが、指定教習所で教習・検定が受けられるようになるのは来春になる見込みです。また、大型二輪の取得年齢が18歳以上となっていますが、これは段階的な免許取得を意図して設定されているため、例えば

大型二輪へチャレンジする場合、普通二輪・小型限定からステップアップすればダイレクトに取るより技能時間が短縮されるなどの優遇措置がはかられています。

さらに、四輪免許を取得する時も二輪免許があれば学科が2時間で済むので、これから免許を取得しようという若者には、18歳まで待つて四輪や大型二輪を取得するより、16歳で普通二輪免許を取得しておくほうが便利だといえます。今後の新規需要開拓をにらんで、先手先手のアドバイスを心がけましょう。

YAMAHA TOPICS

1886通もの力作をありがとう！ 最優秀賞、優秀賞受賞者を招いて “週末バイクライフ”懸賞論文表彰式

ヤマハでは、二輪車市場活性化のための需要創造活動「週末はバイク人」キャンペーンを今年3月から展開してきました。そして、お客さまたちが過去1年、あるいは夢みている素敵なバイクライフについて自由に語っていただいたこと募集したのが「週末バイクライフ」懸賞論文です。

締切りの5月末日までに寄せられた作品は1886点。このなかから、厳正な審査により最優秀賞1点と優秀賞5点、さらに佳作500点を選出しました。みなさまの「応募、大変ありがとうございました」。

8月3日には、入選者のうち最優秀賞、優秀賞の6名（1名欠席）をお招きし、東京都内のホテルで表彰式を開催。ヤマハMC国内営業室・飯塚泰幸室長より、表彰状と副賞の「マジスティ250」（最優秀賞

「YBR1」(優秀賞)を授賞しました。この席上、最優秀賞を受賞した山田須美さんは、

「このような賞を受賞できるとは思っていませんでした。（応募のきっかけとなった）新聞広告のインパクトが強かったもので、急いで論文をまとめて郵便局に走りまわりました。賞品にバイクをいただいたら、主人が大変喜んでおります。ほかの方のすばらしい作品と比較すると、私の作品なんかと気軽にすかしく思っています」と感想を語っていました。

なお、最優秀賞、優秀賞に輝いた6作品はひと足先にヤマハニュースで紹介しましたが、ヤマハでは全応募作品のなかから約500作品を収録した「週末バイクライフ論文作品集」を9月下旬に刊行。全国の

二輪免許の区分

	現 行			改 正		
	排気量	取得年齢	教習制度	排気量	取得年齢	教習制度
自動二輪免許	限定なし 中型 小型	16歳	無 有 有	大型二輪免許 普通二輪免許 小型	全排気量 限定なし 125cc以下	有 有 有
原付免許	50cc以下	16歳	無	原付免許	50cc以下	無

段階的に取得すると軽減される技能教習時限数

	普通二輪免許				大型二輪免許	
	小型限定		限定なし		技能	学科
免許のない方	12	32	19	32	36	32
ステップアップする場合	→ 5		免除		→ 12	免除
普通免許（四輪）保持者	10	1	17	1	31	1

“週末バイクライフ”懸賞論文表彰式



入選者のみなさん●最優秀賞/山田須美さん●優秀賞/田中征生さん、栗原亮さん、大山智明さん（欠席）、加藤莊三さん、鈴木昭次さん

YESショップなどに配布する予定です。

平忠彦さんらを招いて 『WAYミーティング』大盛況!!



夏のバイクイベント真つ盛りりの8月11・12日、Y.E.S.S.の情勢誌「WAY」主催による「第7回WAYミーティング」が、長野県茅野市のツーリングインCHINOで開催されました。今回はゲストに元世界GPライダーの平忠彦さんとバイクジャーナリストの柏秀樹さんを招待。参加者60名あまりを集め、クイズラリー、バイク運動会といったアトラクションは大いに盛り上がりました。平さんと柏さんも参加者と一緒にとライカーナに挑戦したり、バイク談議に花を咲かせたりと、Y.E.S.S.スタッフとの親睦を深めていました。

また、夜にはバーベキュー大会とゲストトークショーが行なわれました。トークショーでは平さん、柏さんの語る鈴鹿8耐やバリダカ・ラリーのウラ話にみんな耳を傾けて聞き入っていたようです。

今回のミーティングは、豪華ゲストや一般のライダーたちとの新たな交流の場を提供できた、たいへん有意義なイベントとなりました。

EVENT TOPICS

「バイクフォーラム'96」開催 多彩なゲストがトークを繰り広げる

8月19日はバイク(8・19)の日。今年も、総務庁と日本自動車工業会主催による「バイクフォーラム'96」が東京都内のホールで600人以上の観客を集めて開催されました。

7年目となる今回は「バイクで見た感動・ドラマ」をテーマに、タレントの山口良一さんが司会を務め、田中康夫さん(作家、布川敏和さん(俳優)、マルタさん(ミュージシャン)、楠タチ子さん(ロードレーサー)がパネラーとして出席、それぞれの個性的なバイクとの付き合い方、楽

しみ方を披露しました。

途中で、マルタさんがサックスを持ち出して即興ライブを行なうというハプニングも。

観客はユーモアを交えて語られるさまざまなエピソードを、興味深く聞き入っていました。

また、全日本モーターサイクルクラブ連盟レスキューレンジャー総隊長の日高慎介氏による緊急時のファーストエイドの講義も行なわれ、出演者、観客全員が真剣に見つめていました。

ヤマハ袋井工場が 無災害日本一! 『平成八年度全国安全週間表彰』

7月1日は「国民安全の日」。この日から1週間を「安全週間」といい、さまざまな安全にまつわるイベントが各地で行なわれましたが、7月3日、静岡市で開かれた平成八年度全国安全週間表彰式の席上、ヤマハの袋井工場が一業種別無災害日本一記録を樹立したとして、中央労働災害防止協会より表彰を受けました。

袋井工場は海外向けのCKD部品梱包などを行なう部門で、今回表彰の対象となった業種は「運搬に付帯するサービス業」です。記録によれば、昭和61年1986年8月22日から起算して平成7年12月31日まで約10年間、419万736時間の間無災害を維持した時点で、業種別の日本一と認められました。

しかし、記録がそこで途切れたわけではなく、現在も更新中。社員のみならずは、「今後も安心して働ける環境を整え、ずっと更新していけるよう努力したい」と笑顔を見せていました。



ヤマハのモノづくりの根底を探る 『ハンドリングのヤマハ伝説』 RIDERS CLUB誌で好評連載中

メーカーの企業イメージは、何よりもその商品で語られる。ヤマハといえば「ライダースクラブ」のヤマハ「2ストのヤマハ」といった言葉がそよである。しかし、これらは一朝一夕に与えられるものではない。長い年月の間に、数多くのお客さまが共通の感動を抱いた時初めて、それが言葉になるのだ。

「ハンドリングのヤマハ」これも、ヤマハが長年積み上げてきたスポーツバイクテクノロジ、徹底したモノづくりへのこだわりに対する賛辞である。

70年代、4気筒ビッグバイクが主流を成していくなかでひとり背を向け、ビッグツインにこだわったヤマハが導き出した「高性能スポーツ」への解答。それは果してこのようにして発想され、どのような形で商品にフィードバック



九月(長月)こよみ

秋は春、夏に続くレジャーシーズンの第3ラウンド。お客さまには、もっともっとバイクで遊んでほしいものです。

とはいえ、バイクも体と同じでそろそろ疲れがたまる頃。夏休みが終わった、次の遊びを考える前にバイクのリフレッシュをおすすめください。例えばオイル交換やチェーン、ブレーキ、タイヤのチェック、各部増し締めなど、必要な点検項目をワンセットにした「リフレッシュコース」で、オリジナル点検キャンペーンを打ってみてはいかがでしょう?

9月・10月の行事・祝祭日

9月7日(土)：白露

- 9月15日(日)：敬老の日
- 9月20日(金)：彼岸入り、動物愛護週間
- 9月21日(土)：秋の全国交通安全運動
- 9月23日(月)：秋分の日
- 9月27日(金)：十五夜
- 10月1日(火)：労働衛生週間
- 10月8日(火)：寒露
- 10月10日(木)：体育の日
- 10月23日(水)：霜降
- 9月・10月の大雪
- 9月/5日(本)・11日(水)・16日(日)・22日(日)・28日(土)・10月/4日(金)・10日(本)・14日(月)・20日(日)・26日(土)
- 9月・10月の行事・祝祭日
- 9月7日(土)：白露

恒例のヤマハF1イベント開催 右京もサロもゲストと一緒に大騒ぎ!

F1イギリスGPを前にした7月11日、シルバーストーンサーキットから程近いノザンプトンで、ヤマハ主催のF1チームイベントが開催されました。これは、サーキットの喧騒を離れて、F1チームと各国プレスやゲストとの親睦を深めようと毎年行なっているものです。

ティレル・ヤマハ・チームからはケン・ティレル代表と片山右京、ミカ・サロの両ドライバーが出席。ヤマハのミニ・オフロードバイクPW50/80やF1のラジコンカ

1、スキーゲームなどのアトラクションに挑戦したり、英国ヤマハが展示した最新のオートバイラインナップを囲んで、招待客と楽しげに談笑していました。

また、イギリス・スーパーバイク選手権に出場しているライダーのジェームズ・ウィザムが、バンド演奏でドラムの腕前を披露する一幕もあり、出席したカメラマンやテレビクルーは、サーキットでは見られない選手たちのリラックスした表情をとらえることができたようです。



スキーゲーム「アルペンレーサー」に熱中する片山右京。参加者全員によるタイム計測大会で盛り上がった。

世界をまたにかけて飛び回り、1分1秒もムダにできない競争と報道に明け暮れる人たちにとって、こんな和やかな交流の場が欠かせないものかもしれません。

LOCAL TOPIC

“週末はバイク人”の趣旨に賛同! 憧れの平さんと一緒に浜名湖ツーリング

今シーズン、ヤマハが「週末はバイク人」キャンペーンを展開して「もつとバイクに乗ろう」と呼びかけているなか、これに合わせていろんな遊びやツーリングを工夫するお店も増えています。

神奈川県YSP藤沢さんもそのひとつ。「ヤマハの関連施設、YES提携施設などをもち有効に使えば、低予算でどんとツーリングにいけるはず」との山本俊彦社長の発案で8月2日・3日は、自らのネットワークも生かして平由彦さんなどに協力を求め、ヤマハマリナー浜名湖への1

泊ツーリングを行ないました。

「夫婦で参加したお客さまの遠藤ゆかりさんは、「4年前、私のためにわざわざ計画していた伊豆ツーリングを、日程が決まったと同時にわかった妊娠のため不

北海道メンバーズクラブが マジエスティーツーリング開催

「スポーツセダン」マジエスティの楽しさ、すばらしさを北海道のお客さまにもつと味わっていただくべく、YSP札幌中央さんをはじめとするYSPメンバーズクラブ北海道フロック会が、7月24日・25日、マジエスティーツーリングを開催しました。

参加者は、40〜70代の男性オーナー9名と女性3名、快晴の札幌を出発、支笏・洞爺国立公園の美しい風景を眺めながら快適なたびを楽しみ、夜はニセコで大宴会、温泉と豪華な夕食、カラオケやマジエスティ談義に花を咲かせました。

そして翌日、日本海を望む岩内からニセ

コ積丹国立公園、キロロリゾートをまわって約400kmの旅を終えた一行ですが、「峠の多い行程にも関わらず好燃費で、疲れも少ない」と、すっかりマジエスティに惚れなおした様子。今後回数も増えそ



ヤマハ車“8耐ウィーク”で快進撃! SP4耐&スーパーパード2耐も奪首

夏の祭典、鈴鹿8時間耐久レースで6年ぶりの優勝(17ページ参照)を遂げたヤマハですが、快挙はそれだけに止まりません。7月18日から始まった「8耐ウィーク」のなかで、もうひとつ注目すべきビッグレースがSP2500&4000マシンで戦われる「SP4時間耐久レース」。今年も、2分23秒141を記録した①飯本博明/片岡祐一組(チームモトスベスYAMAHAA)、続いて③江口謙/加賀啓二組(SP虫勇レーシングチーム)とヤマハTZR250SPR勢が予選1、2位のタイムを記録。優勝への期待が大きくなりました。

そして27日土曜日、決勝。スタートからワン・ツー体制で飛び出した①、③のTZRは、お互いに順位を入れ替えながらハイペースでラップを重ね、しだいに後続との

距離を開き始めます。

しかし、後半、トップを行く③江口が突然のガス欠でスロウダウン。TZRどろしの勝負に思わぬ決着が着き、97周を走り抜いた①飯本/片岡組がTZR勢としては2年ぶりの優勝を飾りました。③江口/加賀組もフリーセーターンクにごぼれた燃料を注ぎ込む荒技で戦列に復帰、同一周回の3位表彰台をゲットしています。

また、国際ライセンスを持つライダーが出場可能なネイキッドレース「SINK2時間耐久」でも、OVERレーシングの大西敏紀/箕田貴司組&XJR1200が優勝。これで、ヤマハ車は今年の「8耐ウィーク」4レース中3レースを制しました。



タイヤ交換が禁止されても、終始安定した速さで栄冠をつかんだ飯本、片岡両選手

97年「パリ・ダカ」はさらに一新! ダカール〜アガデス〜ダカールに

1978年の初開催以来、数々の名バトル、名ドラマを繰り広げてきたダカールラリー。ヤマハは「世界一過酷」ともいわれるこのラリーで、過去7度の優勝を果たしてきました。

「パリ・ダカ」の愛称で親しまれながら、たびたびスタート地点、コースが変更されてきた近年、来たる97年はダカールをスタートとゴール地点に設定。サハラ砂漠を一周する「ダカール〜アガデス〜ダカールラリー」として開催されることとなり、その記者発表会が7月4日、都内のホテルで開かれました。

97年大会の特徴としてコース設定とともにもつと特筆されるのは、サービス体制の大幅な制限。例えばアクトリチームのライダーといえども、2、3日に一度

しかサービスを受けることができないということになり、結果としてプライベート参加のライダーにも優勝、上位入賞のチャンスが増えるわけです。

はたして、ダカール・ラリーがどんな新しいヒーローを生み出すのか、期待したいところです。



レースは1月4日にダカールをスタート、19日にゴールする16日間で行われる。コースは暫定。右回りか左回りかは、今後の調査で決められる

ノリック好調!! 2戦連続3位獲得で ランキング4位にあと1ポイント



8月4日に行われた第10戦・オーストリアGPで、500ccクラスに出場している阿部典史が3位入賞。第9戦・イギリスGPに続いて2戦連続の表彰台を獲得する活躍で現在ランキング5位につけています。
まず7月21日に行われた第9戦・イギリスGP。ヤマハ勢はともに予選から好調で、決勝でもK・ロバーツ、L・カピロッシ、

J・パイルがそろって好ダッシュ。1-2-1-3を形成して客席を大いに湧かせます。その一方、阿部はやや出遅れて7番手となつてしまいましたが、そこからの追い上げが今シーズンの阿部の真骨頂。中盤を過ぎるところで5位まで挽回すると、レース終盤には、前を行く岡田忠之(ホンダ)とスラッセル(スズキ)を一気に抜き去り3位に上がります。そのまま勢いに乗った阿部は、追いつがる岡田をコンマ2秒差で振り

おまたせ!! デマリア&バルトリーニ サンマリノで今季初のダブル1-2

世界選手権モトクロスは、8月4日のフランスGPで11戦を終了。シーズンはあと2戦を残すのみとなりました。
今シーズンはY・デマリア、A・バルトリーニ、A・キオーディの3人を走らせているヤマハファクトリーチームですが、前半戦の怪我などもあり、チーム全体の調子はもうひとつ。しかし、第10戦・サンマリノGPでは、デマリアとバルトリーニが2ヒート連続で1-2フィニッシュを飾る快挙で復活を強烈にアピールしました。

その第1ヒート。バルトリーニがホルシヨットから終始トップを快走。一方のデマリアも好スタートを切って2番手につくと、徐々に追いついていきました。そして終盤、バルトリーニに追いついてバスのチャンスをつかっていたデマリアですが、最終ラップで転倒。これに乗ったバルトリーニが今季初優勝をゲットしました。しかしデマリアもすぐに再スタートして2位をキープしています。

続く第2ヒートは、序盤リードしたデマリアをバルトリーニが7周目に捉えますが、10周目には再びデマリアがトップに返り咲いてそのままリードを広げてチェッカー。さらにバルトリーニも2位でゴールし、ふ

きつて3位をゲット。日本GP以来の嬉しい表彰台を獲得しました。
そして続く第10戦・オーストリアGPでも、グリッド2列目から好スタートを切って一気にトップへ。まもなくM・ドゥーハン(ホンダ)とA・クリビール(ホンダ)に先行を許しましたが、安定した走りで見事3位のポジションをキープ。4位のL・カダローラ(ホンダ)に15秒差をつけてチェッカーを受けました。
これで阿部はトータル110ポイントのランキング5位。4位A・パロス(ホンダ)に1ポイント差まで迫っており、トップ3も狙える位置。ヤマハのエースらしい走りが、熱い注目を集めています。

たりはともに37ポイントを獲得して同時総合優勝を達成。ランキングでもデマリアが4位、バルトリーニが5位にジャンプアップしました。

また、第11戦・フランスGPでは両選手ともトラブルに悩まされて苦しめられ、展開。連勝を逃したものの、デマリアが第1ヒートで2位、バルトリーニが第2ヒートで5位を獲得して、それぞれランキングを守っています。残り2戦のさらなる活躍に期待したいところです。



今季2度目の優勝を果たし、ランキング4位につけたY・デマリア

RACE RESULTS

大会	順位	選手	チーム
[AMA・NX] 第8戦/ニューベルリン (7月21日) 250	1	アルバーチン	スズキ
	2	マクグラス	ホンダ
	3	エミツグ	カワサキ
	4	ルイス	ヤマハ
	5	ラムソン	ホンダ
	6	ウィンダム	ヤマハ
	7	ダウド	ヤマハ
第9戦/トロイ (7月28日) 250	1	マクグラス	ホンダ
	2	エミツグ	カワサキ
	3	ワード	ホンダ
	4	ブラッドショー	ヤマハ
	5	ラムソン	スズキ
	6	ウィンダム	ヤマハ
	7	ハフマン	カワサキ
第10戦/ミルビル (8月4日) 250	1	エミツグ	カワサキ
	2	ヒュース	カワサキ
	3	ロレンス	カワサキ
	4	ブットン	ヤマハ
	5	ルイス	ヤマハ
	6	ブラッドショー	ヤマハ
	7	ラムソン	ホンダ
[全日本RR] 第7戦/MINE (8月11日) SB	1	青木拓磨	ホンダ
	2	芳賀紀行	ヤマハ
	3	梁明	カワサキ
	4	藤原義彦	ヤマハ
	5	本間利彦	ヤマハ
	6	加藤大治郎	ホンダ
	7	沼田憲保	スズキ
[全日本MX] 第7戦/岩手麓沢 (7月21日) 250・ヒート1	1	榎本正則	カワサキ
	2	小田切一剛	ホンダ
	3	ティチナー	スズキ
	4	小池田猛	ヤマハ
	5	鈴木健二	ヤマハ
	6	城戸龍三	ヤマハ
	7	東雅雄	ホンダ
[全日本TR] 第3戦/北海道 (8月4日) 500	1	田中善弘	ベータ
	2	三谷英明	ホンダ
	3	岡村将敏	ベータ
	4	ドゥーハン	ホンダ
	5	クリビール	ホンダ
	6	阿部典史	ヤマハ
	7	カピロッシ	ヤマハ
[WGP・RR] 第9戦/イギリス (7月21日) 500	1	ドゥーハン	ホンダ
	2	クリビール	ホンダ
	3	阿部典史	ヤマハ
	4	カピロッシ	ヤマハ
	5	ピアッジ	アプリリア
	6	ウォルドマン	ホンダ
	7	ジャック	ホンダ
[WGP・MX 250] 第10戦/オーストリア (8月4日) 500	1	クリビール	ホンダ
	2	ドゥーハン	ホンダ
	3	阿部典史	ヤマハ
	4	カピロッシ	ヤマハ
	5	パイル	ヤマハ
	6	ウォルドマン	ホンダ
	7	ダンティン	ホンダ
[WGP・MX 250] 第9戦/ブラジル (7月14日) ヒート1	1	コイ	ホンダ
	2	ラウディス	ホンダ
	3	ロッシ	アプリリア
	4	宇井陽一	ヤマハ
	5	エドワーズ	ホンダ
	6	クラファー	カワサキ
	7	フォガティ	ホンダ
[WGP・MX 250] 第8戦/鈴鹿 8時間 (7月28日) ヒート1	1	エドワーズ	ホンダ
	2	クラファー	カワサキ
	3	フォガティ	ホンダ
	4	平忠彦	ホンダ
	5	芳賀健輔	ホンダ
	6	藤原義彦	ホンダ
	7	吉川和多留	ホンダ
[F1GP] 第10戦/イギリス (7月14日) ヒート1	1	ビルヌーブ	ウィリアムズ
	2	ベルガー	ベネトン
	3	ハッキネン	マクラーレン
	4	ソロ	ティレル・ヤマハ
	5	ヒル	ウィリアムズ
	6	アレジ	ベネトン
	7	ビルヌーブ	ウィリアムズ
第11戦/ドイツ (7月28日) ヒート1	1	ヒル	ウィリアムズ
	2	アレジ	ベネトン
	3	ビルヌーブ	ウィリアムズ
	4	ソロ	ティレル・ヤマハ
	5	ヒル	ウィリアムズ
	6	アレジ	ベネトン
	7	ビルヌーブ	ウィリアムズ
第12戦/ハンガリー (8月11日) ヒート1	1	ビルヌーブ	ウィリアムズ
	2	ヒル	ウィリアムズ
	3	アレジ	ベネトン
	4	ソロ	ティレル・ヤマハ
	5	ビルヌーブ	ウィリアムズ
	6	ヒル	ウィリアムズ
	7	アレジ	ベネトン



今月のテーマ

ライダーの本音

先月号では、ある二人の女性ライダーのトラブルを例に、お客さまがいまバイクショップに何を求めているのかをレポートしました。その中で、バイク歴2年のAさんは「北海道ツーリングに憧れて免許を取ったものの、何かあったらと考えると近場にも出かけられない。バイクのことをいろいろアドバイスしてくれるお店や仲間が欲しい」と、孤独感たつぷりに話していました。

こうした意見を持つているのは、果たして一部の女性ライダーだけなのでしょうか？ 都内のM店さんに聞きました。「そんなことはないと思うよ。ほら、うちのお客さんにもいるけど、TWなんかに乗ってるファッションライダーって、ツーリングになんか行かないと思うでしょ。ところが、そうでもないんだ。ツーリングってどうやるのかわからないだけで、誘えばちゃんと来る。いままでのお客さんとは違うタイプと思っ込んでいたけど、実際はそうでもなかった」

その例に挙げられたファッションライダー（本人はそう呼ばれることを嫌っているが）、21歳・専門学校生の意見。「まわりにバイクに乗ってる奴がまった

くないなかったし、僕自身もそれほど興味があったほうじゃないですから、バイクについての知識がほとんどなかったんです。最近になって、やっと乗るのが面白くなってきましたけど……」

さらに、「たまたま近所の親切な店で買ったから、ツーリングにも誘ってもらえました。先週は日光まで行ってきたんですよ」と笑顔で話します。

ファッションライダーと呼ばれる人たちも、もし本当におしゃれのアイテムとしてバイクに乗っているのだとしたら、バイクそのもののファッション性が失われた時点で、おそらく簡単にバイクから離れてしまうことでしょう。しかし、前出の店主さんはこう話します。「入口なんて関係ない。仮に動機がファッションであったとしても、バイクに乗っている間に本来の面白さ、奥の深さを知ってもらえればいいんです。それを、誘ってもムダにみたくに考えていると、いつまでたってもお客さんは育たないでしょうね」

最近「お客さんの固定化が難しくなった」という話をよく耳にしますが、お客さまはお客さまで、お店からのメッセージを待っているのかもしれない。

ヤマハスクーター

『ジョグ アプリオ タイプⅡ』

特別カラー「マットブラック」モデルを限定5,000台

実用性、経済性にスポーツ性を兼ね備えた7.2馬力の50ccヤマハスクーター「ジョグ アプリオ タイプⅡ」(YJ50S)に、「マットブラック」を基調とした特別カラーモデルを設定。8月20日より限定販売しています。

8月20日 発売

＜限定カラー＞

＜メーカー希望小売価格＞

YJ50S 149,000円

*北海道、沖縄及び一部地域を除く。価格には保険料、税金(含む消費税)、届出に伴う諸費用は含まれません。

■「マットブラック」つや消して、高級感と若者向けのファッション性が特徴です。



ヤマハビジネス

『V50シリーズ』

快適“ワイラックスシート”を採用し、ニューグラフィックで登場

タフで粘り強い2サイクルエンジンと操作性にすぐれる自動遠心クラッチ式3段変速の組み合わせで力強い走りを発揮するヤマハビジネス「V50メイト」「V50Dメイト」、そして新聞配達用の『ニュースメイト50(V50N)』の3モデルがワイラックスシート採用などでマイナーチェンジ。広がる業務需要に応えます。

＜主な変更点＞

- ニューグラフィックの採用
シート下からサイドカバーのグラフィックを一新しました。
- ソフトで快適な新型シート
ワイラックス材をウレタンに内蔵した快適なシートを採用。同時にシート高も低減しました。



●V50D: サムソンブルー

9月1日 発売

＜メーカー希望小売価格＞

V50 155,000円

V50D 167,000円

V50N 173,000円

*北海道、沖縄及び一部地域を除く。価格には保険料、税金(含む消費税)、届出に伴う諸費用は含まれません。



●V50: モスグリーン



●V50D: カメラアグリーン



●V50N: サムソンブルー

ヤマハビジネス

『ニュースメイトT90N』

4サイクル・空冷・89ccエンジンを搭載し、静かで力強い走行を実現している、新聞配達 業務用ヤマハビジネス『ニュースメイトT90N』がマイナーチェンジ。ニューグラフィックで登場します。

＜主な変更点＞

- ニューグラフィックの採用
シート下からサイドカバーのグラフィックを一新しました。

カラーリング

●T90N: ダークバイオレットカクテル1

9月1日 発売

＜メーカー希望小売価格＞

T90N 230,000円

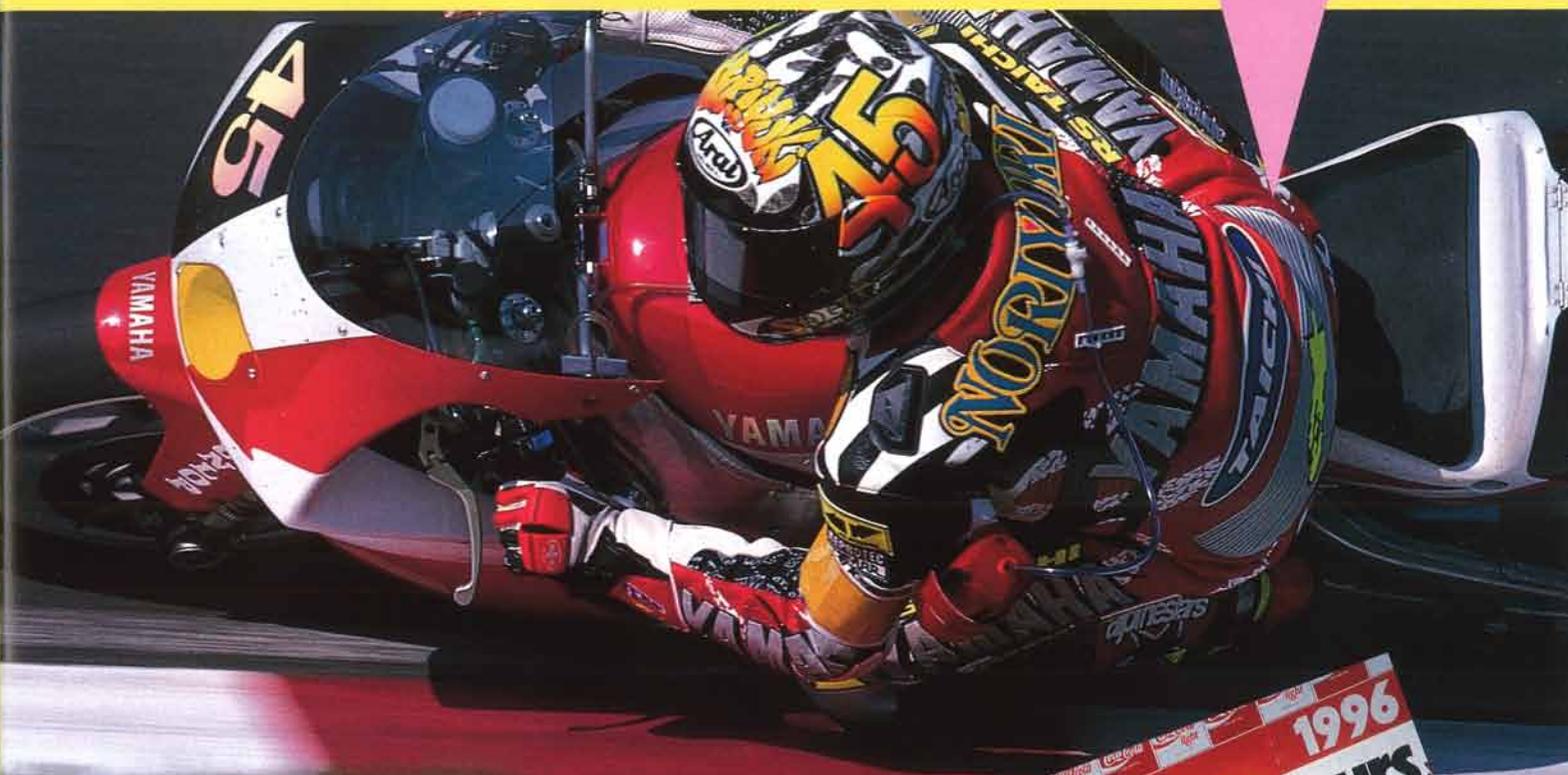
*北海道、沖縄及び一部地域を除く。価格には保険料、税金(含む消費税)、届出に伴う諸費用は含まれません。



夏のスズカを制す!!

ロードレース“真夏の祭典”「'96鈴鹿8時間耐久レース」が7月28日、鈴鹿サーキットで開催され、サバイバルレースを生き残ったヤマハレーシングチームのコーリン・エドワーズ／芳賀紀行組が214周の大会新記録で見事優勝を果たした。ヤマハにとっては6年ぶり4回目の優勝である。

C・エドワーズ／
芳賀紀行組
&
ヤマハ YZF750



ご声援ありがとうございました

終盤に入っても2分11秒台のタイムをマークし、疲れを知らない豪快なライディングを見せた芳賀紀行



優勝した2人はエドワーズ22歳、芳賀紀行21歳のヤングコンビ。芳賀は8耐最年少優勝記録も更新した

今年、ヤマハファクトリーからはYRTの吉川和多留／藤原儀彦組とC・エドワーズ／芳賀紀行組、YESSレーシングチームの芳賀健輔／本間利彦組の3台がエントリー。なかでも芳賀(健)／本間組は土曜日のスペシャルステージで2分10秒761のタイムを出し、予選3番手を獲得。決勝へ向けて幸先のいい滑り出しとなった。

決勝は10万1千人の観衆が見守る中、64台のマシンがスタートの岡田／スライト組(ホンダ)がホールシヨットを奪う。しかし、1回目のピットストップを終えた後、スライトをはじめ有力ライダーが相次いで転倒。優勝戦線から脱落していった。

この時点で、トップ争いは青木(拓)／フォガティ組(ホンダ)とエドワーズ／芳賀(紀)組の2台。激しく順位を入れ替えるスプリントさながらのバトルが繰り広げられた。

しかしレース中盤の103周目、トップのフォガティがヘアピンで転倒。エドワーズ／芳賀(紀)組が首位に上がると、以降一度もその座を明け渡すことなく、独走でチェッカーを受けた。

芳賀(紀)は「ファクトリーマシンでの初めての8耐で勝ててうれしい。エドワーズ選手とはセッティングもほとんど変わらなかったし、ライディングが激しい者同志ぴったり合ったと思う」と2人のライダーの相性の良さが優勝に結びついたことを強調した。

ヤマハは、8耐史上にまた新しい足跡を残した。

HELMET

革新の2WAYヘルメットが
リーズナブルな価格で登場!!

ヤマハヘルメット
ロールバウン システム
Roll Bahn-System

¥19,800

- サイズ:M、L、XL、3L
- カラー:ホワイト、ブラック、スターブラック、コンペティションシルバー
- 規格:JIS B種

幅広いお客さまに人気のB種ヘルメット「ロールバウン」をベースモデルに、ヤマハ2WAYヘルメット「SA-g」で増った①マウスガードの開閉機構および、②フルフェイス⇄ジェット交換システムを採用した新商品です。通勤需要を中心に、幅広いお客さまへご案内ください。

《主な特徴》

- 可動式のマウスガードを開くことで、メガネをつけたままの着脱および、ヘルメット装着時の喫煙や飲食が可能。
- 用途に合わせてフルフェイス⇄ジェットの交換が可能(ジェットシールドはオプション設定)。
- マウスガードの開閉ロックは、グローブをつけたままでも操作可能なワンタッチ式。ヘルメット内部にフレッシュエアを送る、ダイレクトベンチレーションを採用。



マウスガード
開閉時

ブラック



ホワイト

スターブラック

コンペティション
シルバー

ドラッグスターの
グラフィックが
人気のTD-3に
ラインナップ

ヤマハヘルメット

TD-3G2

ドラッグスターのお客さまをターゲットとしたニューカラー、ビビッドオレンジメタリック2を、新たに人気のTD-3シリーズにラインナップ。トータルコーディネートのおすすめアイテムとして、新規のドラッグスターのお客さまはもちろん、すでに本体を購入されているお客さまにもご案内ください。



《主な特徴》

- ドラッグスターとのトータルコーディネートを実現する、本体同様のカラー&グラフィックを採用。
- 洗える本皮革“ウォッシュアブルレザー”を内装に使用。
- 衛生的かつ便利なフル着脱内装。

¥18,800

- サイズ:S、M、L、XL
- カラー:ビビッドオレンジメタリック2
- 規格:JIS B種

AWE-SERIES

透湿防水素材“サイバーテックス”採用の
リーズナブルな防水・防寒ブルゾン

RY-371 [限定商品]

サイバーウォームブルゾン

¥19,800

- サイズ:S、M、L、LL、3L
- カラー:レッド、ブラック、パープルネイビー、シルバー



表地に透湿防水素材“サイバーテックス”、裏地にポリエステルフリースを採用した高機能ブルゾン。リーズナブルな価格設定ながら、優れた防水・防寒機能を誇るニューモデルです。



GLOVE

超はっ水天然皮革“レザノヴァ”に
防寒性を付加したウィンターグローブ

TW-328 [限定商品]

レザノヴァウィンターサーモグローブ

¥9,900

- サイズ:[メンズ]M、L、LL [レディス]M、L
- カラー:ブラック、ブラウン、キャメル、ブラック/キャメル、キャメル/ブラック

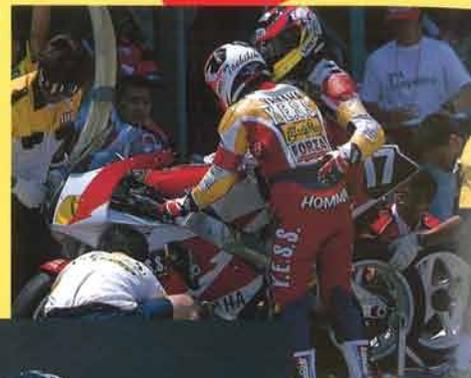
“レザノヴァ”採用のヒットモデルTT-338をベースに、防寒性を高めたウィンターグローブ。風雨をシャットアウトする防水フィルムのインサートや、通常の約2倍の中綿量に加え、保温材スーパーサーモを採用することで高い防寒性能を確保しています。



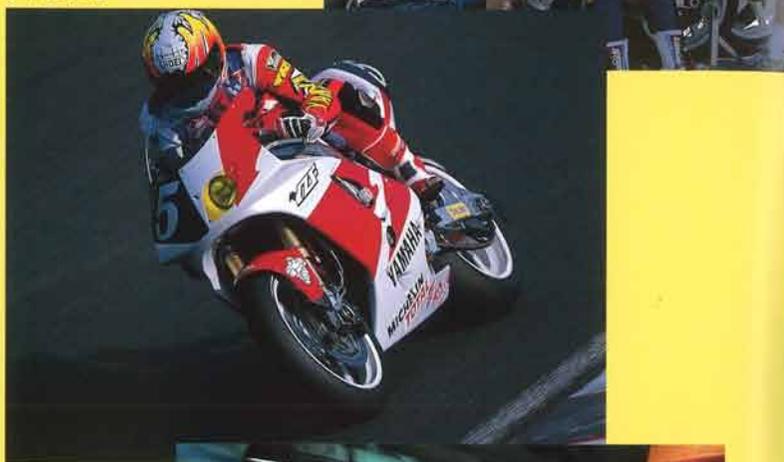
ヤマハ

‘96鈴鹿8耐
優勝!

2度の転倒で長時間のピットストップを強いられたものの、最後まで諦めない走りを見せた芳賢(健)/本間組は37位で完走



藤原/吉川組は1回目の転倒のダメージが響き、再度転倒。マシンが炎上し無念のリタイヤとなった



10年ぶりのコンビ再結成となった平忠彦/C・サロ組は唯一の2気筒マシン、TRX850で4気筒勢に遜色のない走りを披露し、24位完走。'90年に、平がローソンと組んで優勝した時の205周に迫る202周を記録した



静岡県磐田市の市民や地元企業のバックアップを受けて走る「いわたトンボRTジュビロ」。ベテラン高橋勝義/近藤靖典のライディングで、チーム参戦6年目にして過去最高の14位を獲得した



YAMAHA **AD** CLIPS

限定 シブクロ。

TYPE II 69 BIG TANK **149,000** Y 前 円
FRONT DISK BRAKE / 7.2ps ENGINE

タイプIIから、マットブラック 限定5,000台、新登場。

JOG APRIO TYPE-II

この広告は、8月中旬以降発売の二輪専門誌、一般雑誌などに掲載されています

機能・性能最優先で選ぶ”タイプII”
「乗ればわかる」自信がみなぎる
シブクロ”マットブラック” “限定発売”

日常の移動ツールとして、街をフットワーク軽く駆け抜けるジョギングシューズのような存在でありたい。そんなJOGスピリットを受け継いで、より軽快に、もっと乗りやすく便利に生まれ変わったアプリオに、ZRゆずりの俊敏な走りをプラスしたのが「タイプII」だ。大人しやかなスタイルに、優れた実用機能と卓越の走行性を合わせ持つ超優等生。そのくせ、自己主張はけっして派手じゃない。むしろ「乗ればわかる」とでも言いたげに素知らぬふりをする。それが「タイプII」の流儀なのだ。しかし、自信はおのずと表情にあらわれるもの。限定仕様“マットブラック”カラーには、ひと目で心を魅きつける不思議な力が満ちている。

スタンダード・アプリオの便利機能、使い勝手の良さに加え、JOG-ZR並みの高い走行性能を兼ね備えた「タイプII」は、その充実した品質と若さに媚びない落ち着いたスタイルで幅広いユーザー層獲得に成功しました。そこで、現在の広告展開は「タイプII」の骨太な商品性を継続して打ち出しながら、ブランドイメージを固め、商品に対する満足感を高めるものにして考えています。今回の限定カラー“マットブラック”仕様についても、基本コンセプトを守りつつ、ビジュアルで車体色の持つ重厚さ、質感を強調。商品をいかにカッコよく見せるかにこだわりました。アプリオとは別の、新しいスタンダード路線を確立するモデルとして拡販にお役立てください。